

2. 一般社団法人日本腎臓学会 平成 26 年度事業計画

1. 学術集会の開催

◎第 57 回日本腎臓学会学術総会

総会長：渡辺 毅

福島県立医科大学腎臓高血圧内科・糖尿病内分泌代謝内科学講座 主任教授

会 期：平成 26 年 7 月 4 日（金）～6 日（日）

会 場：横浜市 パシフィコ横浜 会議センター

テーマ：「～全身を診る腎臓学～」

サテライトシンポジウム

会 期：平成 26 年 7 月 27 日（日）

会 場：福島市 コラッセふくしま

テーマ：「生活習慣と腎疾患」

○第 44 回日本腎臓学会東部学術大会

大会長：内田俊也 帝京大学医学部 内科 教授

会 期：平成 26 年 10 月 24 日（金）・25 日（土）

会 場：東京都 ベルサール新宿グランド

テーマ：「腎臓学の高みをめざして」

○第 44 回日本腎臓学会西部学術大会

大会長：中西 健 兵庫医科大学 内科学腎・透析科 主任教授

会 期：平成 26 年 10 月 3 日（金）・4 日（土）

会 場：神戸市 神戸国際会議場・神戸商工会議所

テーマ：「腎性貫徹」

2. 出版事業

1) 学会誌：日本腎臓学会誌の発行（年 8 号）

：Clinical and Experimental Nephrology の発行（年 6 号）

：CEN Case Reports の発刊（年 2 号）

2) 「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2013」の英語版作成

3) 「慢性腎臓病に対する食事療法基準」の作成

4) 「血尿診断ガイドライン 2013」の英語版作成

5) 「腎疾患患者の妊娠—診療の手引き改訂版」の作成

6) 「腎生検病理アトラス」の英文化・電子化の作成

7) 「抗腫瘍化学療法に伴う腎障害のガイドライン」の作成

8) 「KDIGO ガイドライン日本語全訳版」の作成

9) 「AKI 診療ガイドライン」の作成

3. 腎疾患に関する調査・検討

1) 厚生労働省

①CKD の早期発見, 予防, 治療標準化, 進展阻止に関する調査研究

②糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発

- ③CKD 進展予防のための特定健診と特定保健指導のあり方に関する研究
- ④慢性腎臓病（CKD）に関する普及啓発のあり方に関する研究
- ⑤特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病（CKD）地域連携システムの制度設計
- ⑥腎疾患重症化予防実践事業（委託事業）：「北海道・東北・関東地方」、「中部・近畿地方ブロック」および「中国・四国・九州地方ブロック」の3ブロック
- 2) 内閣官房「どこでも MY 病院構想：腎臓疾患に関するデータセットの策定」に参画
- 3) 慢性腎臓病の疫学調査「腎移植ドナー GFR プロジェクト」
- 4) 腎臓病健診のあり方の検討
- 5) 腎臓病総合レジストリーの構築
- 6) 登録腎生検予後調査（日本透析医学会と合同）
- 7) IgG4 関連腎臓病の研究
- 8) 腎病理標準化の推進
- 9) 各学会との合同委員会による慢性腎臓病など腎疾患の調査・検討
日本糖尿病学会，日本透析医学会，日本人間ドック学会，日本医学放射線学会，日本医師会，日本薬剤師4団体など

4. 普及・啓発・後援

- 1) 慢性腎臓病（CKD）の予防・診断・治療に関する講演会開催
- 2) 市民公開講座の開催
・平成 26 年 7 月 13 日（日） 福島市：福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」
- 3) 学生・研修医のための教育セミナー
・平成 26 年 10 月 4 日（土） 神戸：神戸国際会議場
・平成 26 年 10 月 25 日（土） 東京：ベルサール新宿グラウンド
- 4) 臨床研修医のための腎臓セミナー
・平成 26 年 7 月 5 日 学生および研修医のための腎臓セミナー
：パシフィコ横浜，担当責任者 今井裕一（愛知医科大）
・平成 26 年 8 月 2・3 日 第 19 回臨床研修医のための腎臓セミナー
：新潟 チサンホテル，担当責任者 成田一衛（新潟大）
・平成 27 年 2 月 28・3 月 1 日 第 20 回臨床研修医のための腎臓セミナー
：東京 灘尾ホール，担当責任者 要 伸也（杏林大）
- 5) 腎臓専門医受験のための教育セミナー
・平成 26 年 7 月 6 日（日） 横浜：パシフィコ横浜
- 6) 第 10 回腎病理夏の学校
・平成 26 年 8 月 30 日（土）・31 日（日） 神戸大学医学部
- 7) 世界腎臓デー慢性腎臓病啓発イベント（慢性腎臓病対策協議会后援）
・平成 27 年 3 月 キドニーウォーク
・平成 27 年 3 月 主要都市での検尿キット配布とキャンペーン
・平成 27 年 3 月 「CKD に関する講演会（慢性腎臓病対策協議会主催）」
・平成 27 年 3 月 「CKD に関するシンポジウム（厚生労働省主催）」
- 8) 都道府県における「CKD 啓発イベント（慢性腎臓病対策協議会主催）」
- 9) 男女共同参画推進に関する活動
・平成 26 年 7 月 5 日（土） 第 57 回学術総会
「テーマ：未定」

- ・平成 26 年 10 月未定 第 44 回東部学術大会
「テーマ：未定」
 - ・平成 26 年 10 月未定 第 44 回西部学術大会
「テーマ：腎臓内科医としてキャリアと人生設計—男女共同参画の視点から」
- 10) 厚生労働省, 全腎協全国大会, 日本慢性腎臓病対策協議会など各団体への後援

5. 国際交流

- 1) 第 14 回アジア太平洋腎臓学会 (APCN2014) を開催する。
- 2) 腎病理国際学会 2015 の開催に向け準備を行っている。
- 3) 日中韓腎カンファレンスを平成 26 年度日本腎臓学会学術総会期間中アジアンモーニングにおいて開催する。
- 4) 第 8 回 AFCKDI 総会が, 平成 26 年 5 月に APCN2014 開催会場品川プリンスホテルで開催される。
- 5) ISN と JSN の joint conference について検討し, 平成 26 年度第 57 回学術総会の「アジア国際交流の夕べ」を拡大して計画する。なお, ASN との連携を強化するため, ASN/JSN の joint symposium を行う。
- 6) グローバル連携強化委員会の活動として, 第 57 回学術総会「アジア国際交流の夕べ」を支援する。
- 7) AINF 企画部会による CME 活動として, アジア諸国から若手研究者を招待する。
- 8) 雑誌「NEPHROLOGY」への協力と支援を行う。

6. 褒賞および研究業績の顕彰

- 1) 大島賞の授与
- 2) 優秀論文賞の授与
- 3) 日本腎臓学会奨学プログラムの授与
- 4) 上田賞の授与
- 5) 基礎研究支援プログラムの授与
- 6) 新たな褒賞制度の検討を行う。

7. その他の事業

- 1) 会員数の増加を図る。当面の目標として正会員 1 万人を目指す。
- 2) 腎臓専門医・指導医, 研修施設の認定を行う。
- 3) 平成 27 年 2 月 7 日 (土) 第 23 回腎臓専門医試験を行う。
- 4) 日本医師会糖尿病対策合同会議に参画し, 「糖尿病性腎症」のテーマに取り組む。
- 5) 学会主導の学術総会の推進を行っている。
- 6) 腎臓病療養指導士制度の検討を図る。
- 7) 先行的腎移植を希望する献腎移植の登録システム構築し審査を継続する。
- 8) 診療報酬算定獲得に向け対策を強化する。
- 9) 一般社団法人移行に伴い電子公告が可能となったため, 会員のメール登録を強化・拡充を図る。
- 10) 「日本腎臓学会サポーター制度」発足に伴い活動支援を積極的に行う。
- 11) その他

以上